

90° 不凍水栓柱 A15V 施工説明書（工事店様用）

施工の前にこの「施工説明書」をよくお読み頂き、正しく施工して下さい。

この「施工説明書」は、「取扱説明書」とともに、必ずお客様に保管を依頼して下さい。

施工後、取扱説明書にそって必ずお客様に使用方法を説明して下さい。

使用条件 本製品の使用条件は次の通りです。

- 使用流体：水道水 ●使用温度：常温（20±15℃） ●使用圧力：0.75MPa 以下

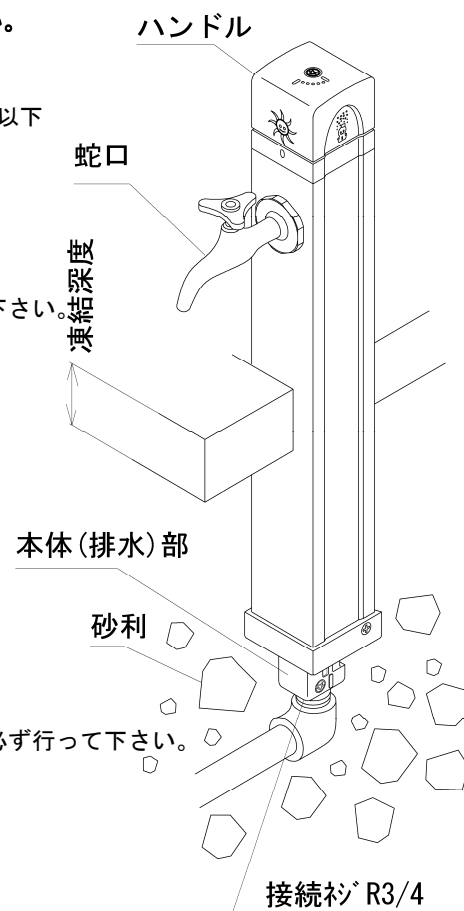
施工上の注意

施工前

- ① 必ず本体(排水)部（右図）が凍結深度より深くなるように土中埋設して設置下さい。
- ② 必ず施工前に配管内を洗浄して異物を除去してください。
- ③ 破損防止のため、配管に接続する際は本体部のレンチ掛けを使用下さい。
- ④ 本体部付近には砂利等を用い、排水をよくして下さい。
- ⑤ 浸透性の悪い土質では浸透性の良い所まで導水パイプを設置して下さい。

施工後

- ① 接続部等からの漏水が無いことを確認して下さい。
- ② 取扱説明書にそって操作し、水が抜けることを確認して下さい。
- ③ 本製品から分岐配管しての使用は避けて下さい。
- ④ 埋め戻し前に不凍水栓柱を全開（ハンドルが通水位置）で通水し管内の洗浄を必ず行って下さい。
- ⑤ 本製品がぐらつかないように確実に埋設して下さい。



安全上の注意

以下に示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守って施工して下さい。

① 施工検査時等に 0.75MPa を超える水圧をかけた状態で

本製品上部のハンドルを操作しないでください！！

○リングを損傷する恐れがあります。

② 埋設部は必ず凍結深度以下に配管して下さい。

埋設深度が不足すると本体(排水)部が凍結・破損し、漏水による損害が起こる恐れがあります。

③ 浸透性のよい場所に施工して下さい。

浸透性の悪い土質では浸透性の良い所まで導水パイプで導水しないと凍結・破損し、漏水による損害が起こる恐れがあります。

④ 本製品の排水部をコンクリート等で固定しないで下さい。

管内の水が排出できなくなります。

⑤ 配管内の洗管は充分に行って下さい。

管内の残留異物による流量低下、また○リングやパッキン等が損傷し、漏水による破損の恐れがあります。

⑥ 設置後、本製品及び蛇口の方向は変更しないで下さい。

本製品本体と継手接合ネジ部がゆるみ、漏水による損害が発生する恐れがあります。

⑦ ネジ部は直接触れないで下さい。

鋭利なため、けがをする恐れがあります。

⑧ 本製品および配管にアースをとらないで下さい。

腐食する恐れがあります。

保証期間：2年間

■取扱説明書、製品貼付けラベル等の注意書に従った正常な使用維持管理状態で保証期間中に故障した場合、無償修理致します。

■保証期間中でも以下の場合には有償修理とさせていただきます。

○使用・維持管理上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。○水道水以外の利用による故障及び損傷。

○天災・火災等の自然災害、その他事故など故障の原因が商品以外にあるとき。○消耗部品の磨耗・劣化に伴う故障及び損傷。

○配管作業時における異物の混入による損傷及び機能低下。○取扱説明書（お客様用）に取扱日・取扱店の記入の無い場合

故障状況と対処

状況	予想原因	対処方法
水が出ない(少ない)	ハンドルが全開でない	ハンドルを全開状態にする
	内部に異物がある	内部ユニットを引き出し、異物を除去する※
ハンドルが回らない	内部で異物をかんでいる	内部ユニットを引き出し○リングの交換 または内部ユニットごと交換する※
水抜き状態にしても止水できない	○リングが磨耗、損傷している	
通水状態にして蛇口を閉めても漏水音がある		
操作に関わらず凍結する	埋設設置されていない 埋設深度が不足している	凍結深度以下に土中埋設する

※下記「メンテナンスの手順」を参照のこと。

メンテナンスの手順

分解の前に

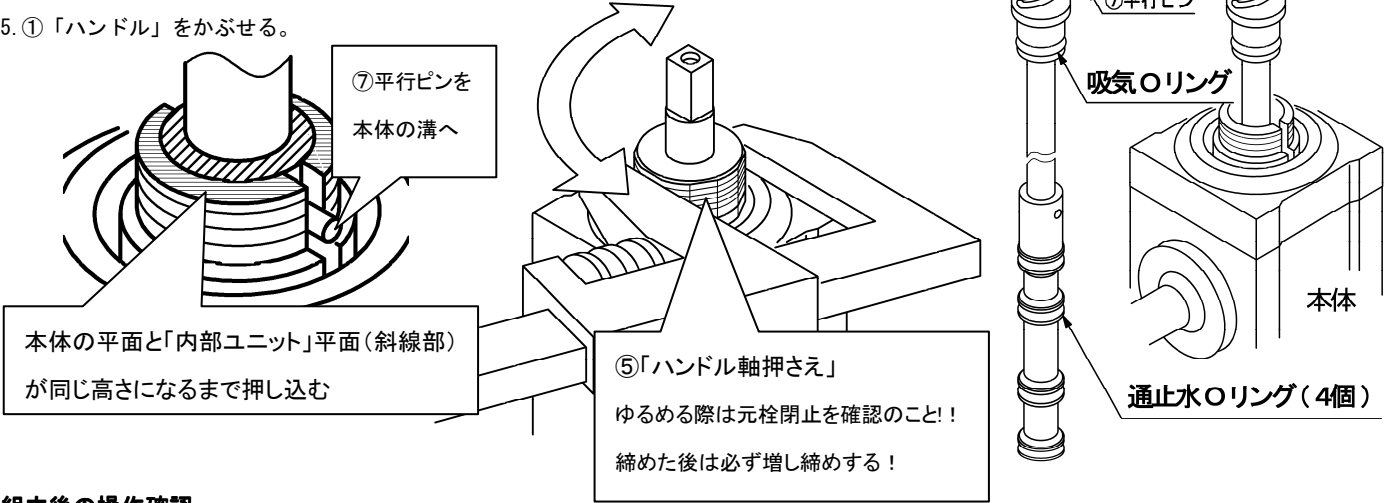
- 1. **必ず水道の元栓を閉める。**その後、本製品が通水状態で蛇口を開け水圧を抜く。
- 2. 本製品を水抜き状態する。(雪ダルママークが蛇口側を向く)

分解手順

- 1. ③「ハンドル受け」の両側面の丸部（太陽マークの顔）を押してロックを解除し①「ハンドル」を引っ張りあげる。
- 2. ②「ビス」をゆるめて外し、③「ハンドル受け」を外す。
- 3. プラスチック製の④「カバー押さえ」をゆるめて外す。
- 4. ⑤「ハンドル軸押さえ」をゆるめて本体から外す。
- 5. 「内部ユニット」を引き上げ、Oリング交換または異物除去等メンテナンスを行なう。

再組立手順

- 1. メンテナンス終了後、「内部ユニット」を本体に再挿入する。
- 2. ⑦「平行ピン」を本体の溝に入れ、本体平面部と「内部ユニット」平面が同じ高さになるまで押込む。
- 3. ⑤「ハンドル軸押さえ」を本体に締め込む。**必ず増し締めする。(推奨トルク 20N・m)**
- 4. ④「カバー押さえ」を⑤「ハンドル軸押さえ」にねじ込み固定する。
- 5. ③「ハンドル受け」を「内部ユニット」最上部に②「ビス」で固定する。
- 6. ①「ハンドル」をかぶせる。



組立後の操作確認

- 1. ハンドルを 90° 開閉し滑らかに作動することを確認する。
- 2. 元栓を開け、通水及び水抜き（止水）を確認する。

前澤給装工業株式会社

本社 〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号 (03)3716-1511(代表)